



GYOSHU NEWS #23

March 19, 2020

PUBLISHED BY 広報部

特集：一年間の振り返り

中学1年生を振り返って

皆さんこんにちは！もう一年が終わろうとしています、皆さんはどんな一年を過ごせたでしょうか？私は、中1なのでまだまだわからないこともたくさんありますし、驚くことばかりです。でも、先生方や先輩方に様々なことを教えて頂き、やっと学校生活にも慣れてきました。

去年の4月、私たち中学一年生は入学式を迎え、少なくとも私は喜び、期待、不安、少しのパニックという感情のオンパレードでした。喜びと期待は新しい学校生活が始まって、「先生はどんな人になるのかな」とか、「外部からはどんな子が来るのかな」とか考えていました。私にとって不安と少しのパニックというのは、暁秀の学校内が広くて「何がどこにあるのかわからなくて迷子になりそう」とか、学力の水準が高くてついていけるかどうかという不安が大きかったです。でも、どの先生も優しく、面白くて、とてもわかりやすいことに感動しました。今まで、どの教科も特に優秀というわけでもなかったのですが、進学して、新しい先生に出会って沢山のことを教えて頂き、自分でも成長を感じられるようになりました！！それからというもの、『学ぶ』ということが楽しくて、自分から勉強に取り組めるようにもなれました。

そして、文化祭ではクラスでパフォーマンスがあって、お互いの親交も深められて、どうしたら見ている人たちが楽しめて、「おおー！」ってなるようなことができるのかとかをみんなで考えて頑張れたと思います。

次に、御殿場合宿も楽しかったです！！班での行動とか、川原を歩いたり、富士山を登ったり、富士山について多くの知識を得ることができました。改めて、遠かった友達との距離も近くなって、私にとって忘れられない思い出になりました。

最後に中学一年生を振り返って、とにかく楽しかったです。もちろん辛くて悲しいこともありました。ですが、それ以上にみんなと過ごす時間が楽しくて、嬉しかったのだと思います。だから、クラスメートの皆さん、そして一年お世話になった先生方、改めてありがとうございました。そして、今後ともよろしくお願いします。

(中1・佐藤)



みなさんはこの一年間どうでしたか。私はこの暁秀中学校に入り、新しいことがたくさんあった一年でした。



まず、入学したばかりの当初は、私は新しい先生や友達、そして授業のことが心配でした。ですが、多少授業の受け方は変わったものの、小学校からの友達や新しく出来た友達そして、多くの先生方のおかげで楽しい一年を過ごせました。

そして、何より大変だったことは、初めての定期テストです。予想はしていましたが、小学校の時のテストよりもとても難しく、あまりいい点が取れませんでした。そもそも、小学校では定期テストというものを受けたことが無かったので、テストだけしかない学校の一日もとても新鮮に感じられました。少し嬉しかったのですが、テスト勉強をするための時間だということに気づき、その喜びも失せました。そして何回かテストを受けていくうちに、その先生のテストの問題の出し方も次第にわかってきて、少しだけテストの点を多くとれるようになれました。これからは定期テストを受けることにはなりますが、結局この一年で定期テストのありがたみを感じることはありませんでした。

個人的に一番楽しかった行事は、やはり暁秀祭の文化祭でした。クラスのみんなでやった出し物はとても楽しく、面白かったです。他にも、友達と一緒に、高校生みなさんや保護者みなさんが出していた店をまわり、そこで買ったものを食べたことも楽しい思い出です。

私の初めての中学校の一年はたくさんの新しいことを体験しました。他にも、先生に注意されて怖かったり、土曜に学校があって憂鬱だったり、新学期初めに体育館をぐるぐる走らせられてとても疲れた時がありました。ですがやっぱり学校は楽しいので早くも一年が過ぎていきました。もう中学生時代の三分の一を過ごしたと思うと、この一年はとても早く過ぎたように感じます。

もうすぐ、中学二年生ですが、それも楽しみです。
(中1・中山)

春休みにできること、まとめ

みなさん、新型コロナウイルスのせいで休校が決まりましたね。個人的には外にも出られないし予定も全てキャンセルになってしまったので残念です。トホホ...

勉強するのは当たり前、でも家でずーっと勉強するだけではつまらないですよ。というわけで今回は私、中原調べによるできることをご紹介します。

①映画を見る

映画は自分の価値観を変えてくれたり、英語の勉強になったりします。暗くした部屋で映画をのんびりみる...。そんな日があってもいいかもしれませんね。個人的におすすめなのはメリル・ストリープ とアン・ハサウェイがW主演している「プラダを着た悪魔」。ゴージャスなファッション業界誌の舞台裏をコミカルに演出する最高のサクセスストーリーです。かわいくておしゃれな登場人物たちにきっとみなさんも夢中になると思います。

②本を読む

読書はやっぱり暇つぶしの鉄板ですよ。みなさんにおすすめの長めの本、三冊ほどおすすめさせていただきます。一冊目、「みかづき」(森絵都)戦後まもない時代で塾と教育について情熱を燃やす3代にわたる家族の物語です。長いけど読みやすいし、何よりワクワクします。二冊目、「トリイティ」(窪美澄)。これも三代にわたる女性を描いた物語です。本をめくる手が止まらないぐらい臨場感のある一冊です。三冊目、「熱源」(川越宗一)。この本は今年の直木賞にも選ばれている傑作です。アイヌとロシアの人々を切り取った一冊なのですが、とにかくアツい。自分の目の前に樺太の大雪原が広がりますよ。面白いです。

③プログラミングを勉強してみる

もうすぐ、小学校でプログラミングの学習が必須になりますね。私たち中高生も負けてはいられません。それにプログラミングって敷居が高そうで実は、高くないですよ。今回は休校期間中特別に無料公開してくださっているオンラインスクールを一つ紹介します。それがこちら、Life is Tech!による「テクノロジー魔法学校」です。このプログラムはディズニーのストーリーと一緒にプログラミングを学べる作りになっていてとても面白いらしいです。(私も早速申し込みました。)プログラミングが出来たら将来絶対に自分の武器になると思うのでみなさん、是非プログラミングを学んでみませんか？

休校になっては仕舞いでしたが、みなさんネガティブにとらえ過ぎず「自分磨きの時間」だと思って過ごしてみませんか？

(高1 中原)



台風募金について～生徒会より～

昨年末、生徒会と代表委員会主体で台風による地元被災地の支援募金を行いました。期間は2週間、各クラスのクラス代表と生徒会役員数名が朝の登校時間に校門前に立っていただきました。途中、修学旅行により高校2年生の生徒会長、代表委員長が不在中でも代表委員会と生徒会役員の尽力により募金活動は継続されました。

結果、皆様から頂いた支援の総額は9万405円、伊豆の国市、熱海市、函南町の各社会福祉協議会にそれぞれ3万135円を寄付させていただきました。

支援にご協力してくださった皆様、そして募金活動を行って頂いた生徒会役員、代表委員会員の皆様には厚く御礼申し上げます。

祝✽卒業

粛々と開かれた卒業式でしたが、担任の先生たちの思いがこもった黒板アートに心が温まりました。



卒業生皆さんの輝かしい未来に、幸あれ！！